

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・COC+事業と連動して、学生による地域の課題解決への取り組みを支援することで、地域に貢献できる人材の育成を図るとともに、学生の地域への愛着を深めることができた。
②	・看護科学大学では、文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の予防的家庭訪問実習を継続実施したほか、H28年度には看護研究交流センターに「産学官連携推進チーム」を設置し、医療・介護機器開発等における産学官連携の強化を図った。
③	・芸術文化短期大学では、音楽科のコース再編など、魅力あるカリキュラムへの再編を推進するとともに、専門性の高い長期公開講座の充実、芸術文化ゾーンと連携した音楽科定期演奏会や芸術科卒業制作展の開催、地域ふれあいアート講座や地域巡回演奏会の実施、「おおいた大茶会」のロゴマーク制作など、社会貢献活動に取り組んだ。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	地方創生大学等連携プロジェクト支援事業	10,914	A	継続・見直し	28
②	公立大学法人運営費交付金(看護科学大学)	596,586	A	継続・見直し	75
③	公立大学法人運営費交付金(芸術文化短期大学)	452,135	A	継続・見直し	27

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○第4回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H28.11)</p> <p>・大学の地域体験学習等の受入ニーズは各地域にあるため、体験をコーディネートする受け皿整備が出来ないか。</p>	<p>○平成29年度第1回大分県地方独立行政法人評価委員会(H29.7)</p> <p>・看護科学大学には、予防的家庭訪問実習を筆頭に数多くの優れた取り組みが生まれており、大分県はもとより全国における看護系大学としての拠点校形成を進めてもらいたい。</p> <p>・芸術文化短期大学には、芸術と文化に関する専門的な知識と技能、総合的な判断力と課題解決力、社会で活躍する実践力を持った人材の育成を軸としながら、今後とも教育研究等の質の向上を期待したい。</p>
--	---

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・教育、産業、福祉、医療など様々な分野の地域課題解決に向け、県内外の大学との連携を推進する。</p> <p>・看護科学大学では、教育研究における環境の整備、公開講座や地(知)の拠点整備事業などを通じた地域貢献の推進、大学院における保健師、助産師、NP(診療看護師)教育の充実や看護を通じたものづくりによる産学官連携の強化などにより、特色ある大学づくりを推進する。</p> <p>・芸術文化短期大学では、社会ニーズに応じたカリキュラムへの再編など教育機能の充実強化、地域貢献活動や芸術文化ゾーンとの連携、機能充実のための施設整備を行うことにより、魅力ある大学づくりを推進する。</p>